

2014年3月期 第1四半期決算説明資料

2013年7月12日



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

<http://www.gendai-a.co.jp> JASDAQ:2411

第1四半期 損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	1Q累計期間	構成比	前年1Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	4,189	100.0%	4,692	100.0%	89.3%
営業利益	423	10.1%	541	11.5%	78.2%
経常利益	427	10.2%	539	11.5%	79.3%
純利益	263	6.3%	337	7.2%	78.0%

- パチンコホール業界では、個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いておりますが、大手法人を中心とした積極的な新規出店も見られる等、明るい兆しもありました。
- こうした環境下、主力の広告事業において販売シェアを拡大していく為、取引顧客店舗数の更なる増加に向けて取り組んでまいりました。
- しかしながらイベント広告規制強化の影響による広告需要の消失を穴埋めするには至らず、結果、当第1四半期の売上高は4,189百万円（前年同期比▲10.7%減）、営業利益は423百万円（同▲21.8%減）、四半期純利益は263百万円（同▲22.0%減）となりました。

事業の種類別セグメント

当第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	4,152	36	—	4,189
セグメント利益	512	14	▲103	423

前年同期比

(単位:百万円)

	広告事業	不動産事業	調整額	連結
売上高	▲503	—	—	▲503
セグメント利益	▲117	▲1	—	▲118

- 当第1四半期における売上高は、イベント広告規制の影響もあり前年に対し、売上高では▲503百万円の減収、またセグメント利益も▲118百万円の減益となりました。

広告事業

第1四半期 損益計算書（広告事業）

（単位：百万円）

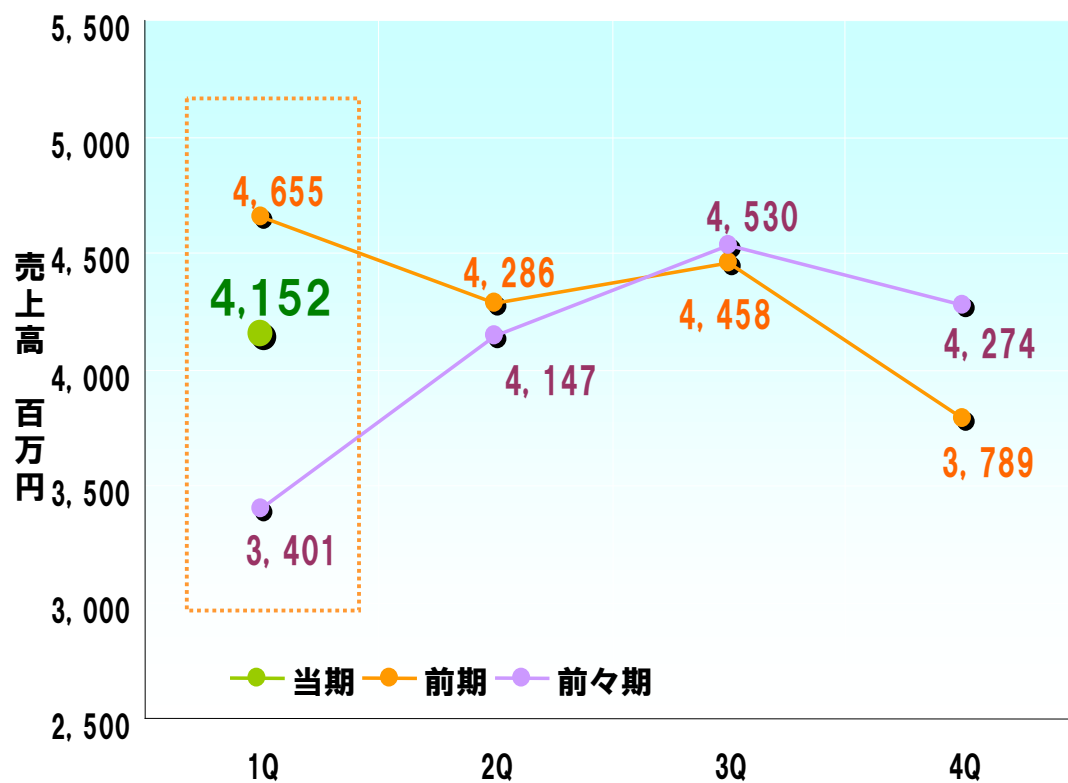
広告事業	1Q累計期間	前年1Q累計期間	前年同期比
売上高	4,152	4,655	89.2%
営業費用	3,640	4,026	90.4%
セグメント利益	512	629	81.3%

- 当第1四半期連結累計期間のホール広告市場は、昨年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について（通知）」を受け、広告需要は低迷する状況にありました。
- こうした環境下において当社は、営業活動を強化し、取引店舗数の増加に努めました
 - ・新規出店を予定するパチンコホール企業への広告提案活動を質、量ともに充実させ、新規出店告知案件の獲得率を高めた
 - ・主力であった紙媒体以外の媒体やサービスの提案を強化し、潜在顧客からの受注獲得に向けたアプローチを積極的に進めた
- これらの取り組みにより、顧客基盤の拡大を図ることができたものの、広告規制強化に伴う広告需要の減少を埋め合わせるまでには至らず、広告事業の売上高は4,152百万円（前年同期比▲10.8%減）となりました。また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は512百万円（同▲18.7%減）となりました。

四半期売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	4,152	—	—	—	—
前期	4,655	4,286	4,458	3,789	17,188
前々期	3,401	4,147	4,530	4,274	16,352

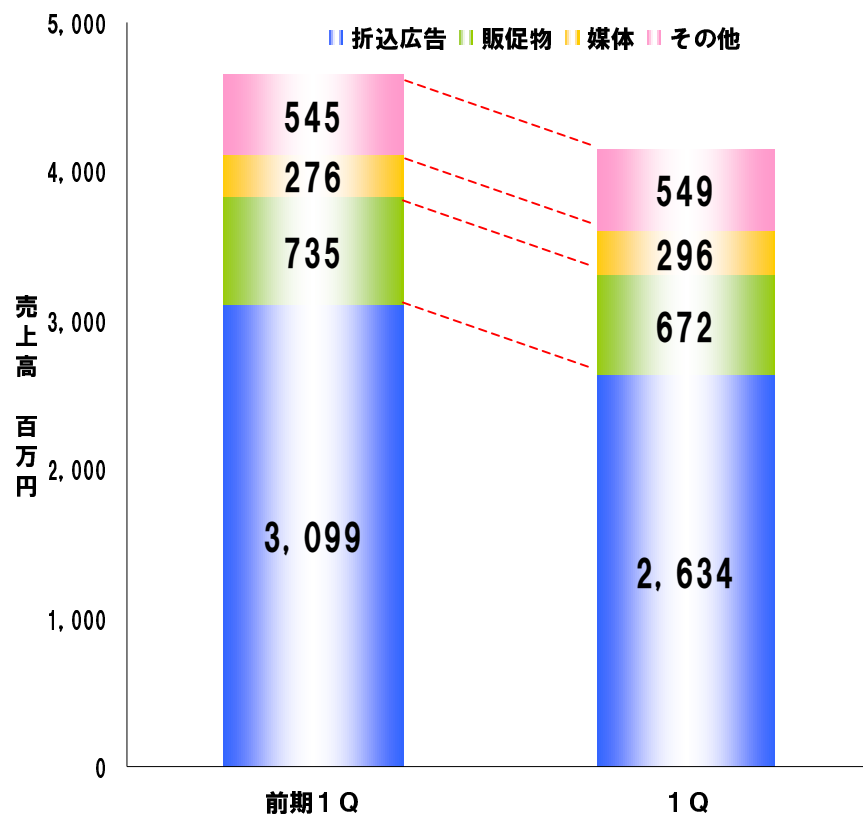


■ イベント広告規制の影響もあり、前期との比較では減少しております。

品目別売上高の推移（広告事業）

（単位：百万円）

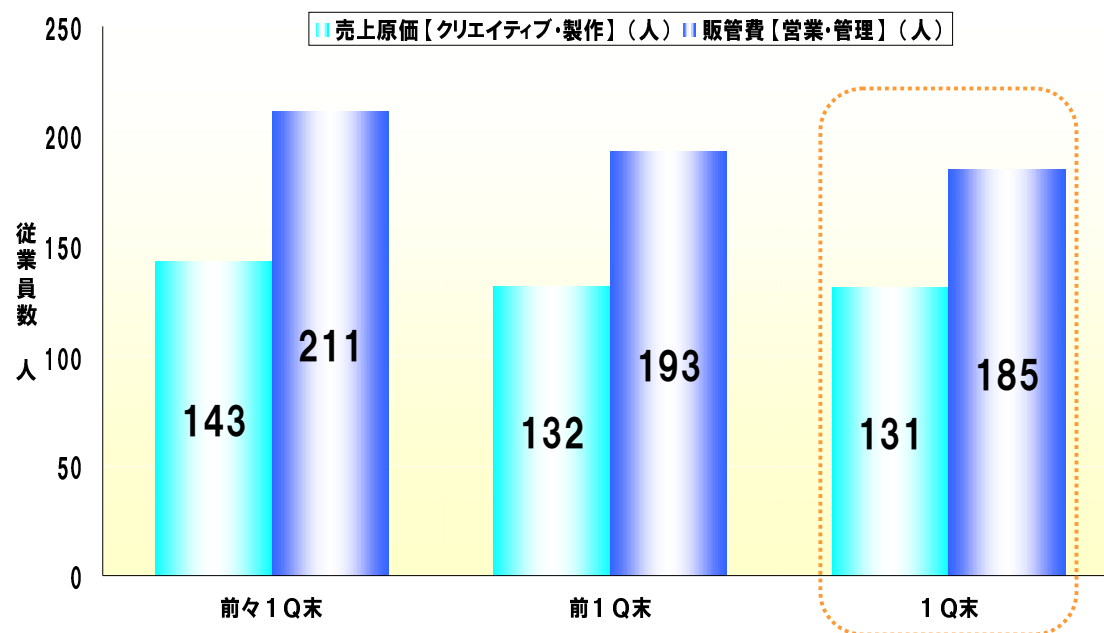
		1Q	構成比	前期1Q	構成比	前年同期比
売上高合計	折込広告	2,634	63.4%	3,099	66.6%	85.0%
	販促物	672	16.2%	735	15.8%	91.5%
	媒体	296	7.1%	276	5.9%	107.4%
	その他	549	13.2%	545	11.7%	100.7%
		4,152	100.0%	4,655	100.0%	89.2%



■ イベント広告規制の影響もあり、
折込広告は前年同期比で▲15.0%
減少しております。

従業員の状況（広告事業）

	前々1Q末	前1Q末	1Q末
売上原価【クリエイティブ・制作】（人）	143	132	131
販管費【営業・管理】（人）	211	193	185
広告事業計（人）	354	325	316



■ 前1Q末より従業員は
9名減少しております。

不動産事業

第1四半期 損益計算書（不動産事業）

（単位：百万円）

不動産事業	1Q累計期間	前年1Q累計期間	前年同期比
売上高	36	36	100.0%
営業費用	22	21	104.8%
セグメント利益	14	15	95.2%

- 当第1四半期においては、既契約で継続中の2件の賃貸案件以外で新規に成約した案件はありませんでした。その結果、売上高は36百万円（前年同期と同じ）となり、セグメント利益は14百万円（同▲4.8%減）となりました。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 (A)	1Q末 (B)	差額 (B)-(A)
現金及び預金	4,012	3,902	▲110
受取手形・売掛金	2,094	2,121	27
その他流動資産	133	109	▲24
有形固定資産	861	873	12
無形固定資産	69	61	▲8
投資その他資産	720	793	73
資産合計	7,891	7,862	▲29
支払手形・買掛金	1,146	1,170	24
短期借入金	100	500	400
1年以内返済予定の長期借入金	368	312	▲56
未払法人税等	558	135	▲422
その他流動負債	239	262	23
長期借入金	426	396	▲30
その他固定負債	28	28	0
負債合計	2,868	2,805	▲62
株主資本	5,001	5,032	31
その他	22	23	1
純資産合計	5,023	5,056	33
負債・純資産合計	7,891	7,862	▲29

・・・①納税、配当等による
現金及び預金の減少

・・・②前期末比33百万円の増加

～主な要因～

- ・四半期純利益263百万円
- ・利益配当▲232百万円

2014年3月期 連結業績予想と進捗状況

(単位: 百万円)

	2014年3月期 1Q実績	2014年3月期 2Q累計予想	進捗率	2014年3月期通期予想 ※2013年4月12日発表	進捗率
売上高	4,189	8,050	52.0%	16,350	25.6%
営業利益	423	710	59.6%	1,530	27.6%
経常利益	427	710	60.1%	1,530	27.9%
当期純利益	263	430	61.2%	910	28.9%

- 2013年4月12日に公表の業績予想に対し、概ね計画通りに推移していることから、業績予想の変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334